



絆できらめく ひと・まち・自然 未来へつなぐ 共生の郷

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

第72号

令和6年11月5日発行

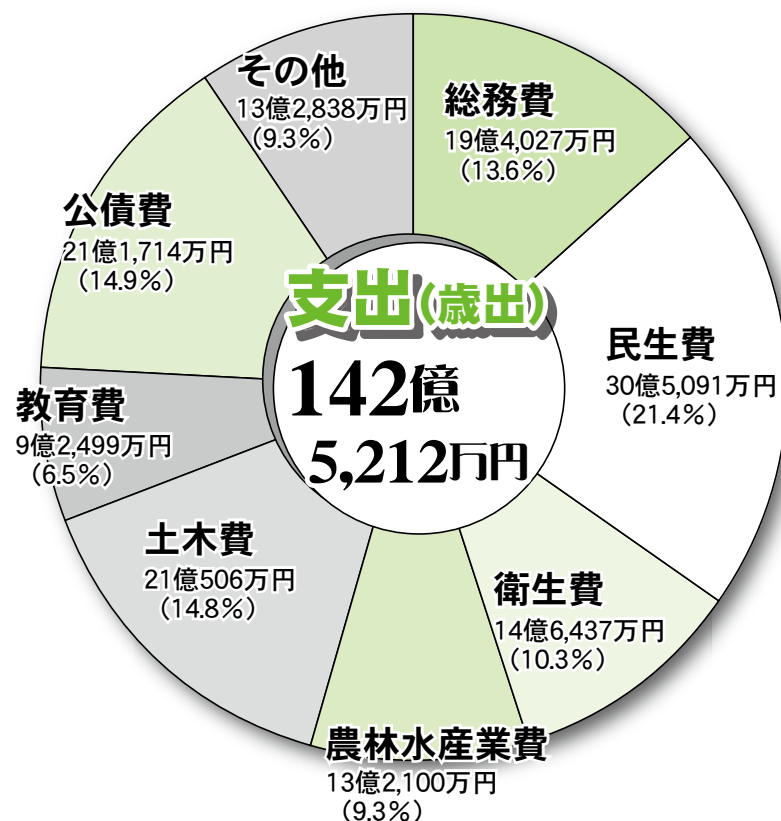
さよう

・第118回定例会 審議内容	2
・決算特別委員会審査	4
・一般質問 8人の議員が斬り込む	10
・委員会の動き、組合議会報告	19
・議会の予定・編集後記	裏表紙

味わいの里三日月 芋掘り体験

効果的な投資と堅実な財政運営

自主財源は
約30.9%



令和5年度の一般会計決算額は、歳入143億5631万9千円、歳出142億5212万6千円。翌年度へ繰り越すべき財源879万円を引いた実質収支額は、9540万3千円の黒字となりました。黒字額は、前年度よりも1344万3千円の減額となりました。町債(借金)は前年度より約7億1600万円の減少。基金(貯金)も約11億4200万円減少しています。

一般会計歳出

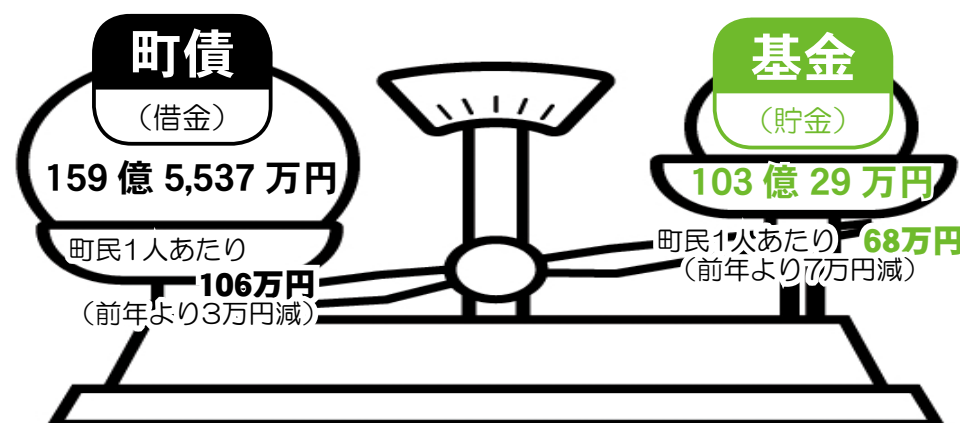
●町民一人あたりの町債



一般会計歳入

(借金)と基金(貯金)の状況

令和6年3月末人口：14,938人

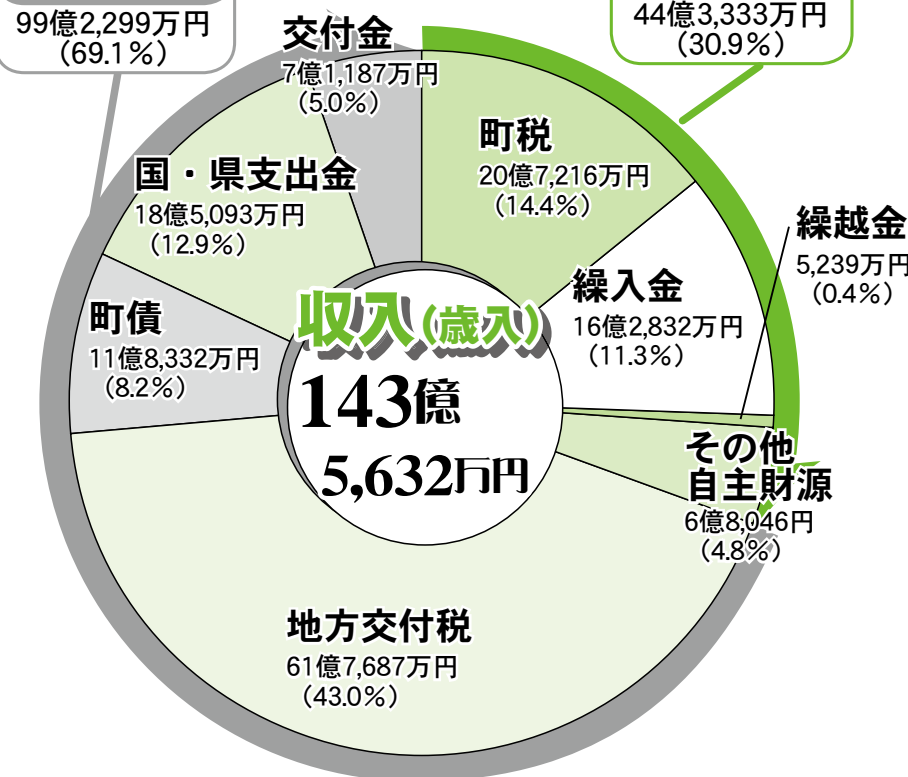


依存財源

国・県や町債に頼ったお金
99億2,299万円 (69.1%)

自主財源

町で集めたお金
44億3,333万円 (30.9%)



監査委員決算審査報告(要旨)



代表監査委員 中井 幹夫

第118回佐用町議会定例会は、9月2日から9月25日までの24日間の会期で開催し、令和5年度各会計決算案12件は、決算特別委員会を設置し、2日間にわたり審査し、すべて原案のとおり認定しました。条例の一部改正3件、財産の取得1件、令和6年度補正予算案など8件、同意2件、諮問1件、すべて原案の通り可決、同意しました。一般質問は8名の議員が登壇し、活発な議論がなされました。

子育て・教育環境の充実については、佐用保育園等のLED照明設備、エアコン等の改修など、施設整備に注力するなど、子育て世帯への支援充実に取り組みました。ひきこもり支援についても、支援対象世帯を対象に相談会を開催するなど、ひきこもりに至る前の段階において、支援を行える体制を整えたことを評価します。児童生徒数の減少に歯止めがかからない状況で、教職員やPTA任せで、学校運営を行うこと高く評価します。

は、ますます困難になっており、学校間の連携の他、コミュニティスクールのような社会全体で義務教育を支えるシステムの構築が急がれます。観光分野については、「幸せの黄色いまち佐用町」を合言葉に、桜まつりやひまわりイベントなどで町外に向け、積極的にPR活動を行いました。中でも南光自然観察村は、意欲的に事業展開を図り、本年度も黒字経営を維持できたことは、評価に値します。

利神城跡については、早期に用地問題を解決し、歴史的文化遺産の保全と合わせて、町の貴重な観光資源として、町外からのさらなる集客と地域の活性化に繋げていただくことを期待します。公共施設の維持管理、効率的な運用については、し尿処理施設(佐用衛生公苑)の廃止を見据え、他地域の下水処理施設

にPR活動を行いました。中でも南光自然観察村は、意欲的に事業展開を図り、本年度も黒字経営を維持できたことは、評価に値します。利神城跡については、早期に用地問題を解決し、歴史的文化遺産の保全と合わせて、町の貴重な観光資源として、町外からのさらなる集客と地域の活性化に繋げていただくことを期待します。公共施設の維持管理、効率的な運用については、し尿処理施設(佐用衛生公苑)の廃止を見据え、他地域の下水処理施設

最後に、議会及び行政当局の皆様には、佐用町第二次総合計画にもあります、「希望と誇りと元気を持てるまち」実現のために、持続可能な財政運営に、更なるご尽力をお願いいたします。

ここが聞きたい

決算特別委員会 質疑

9月3日、4日に令和5年度の一般会計並びに特別会計等12会計について予算執行状況と事業実施効果などを全議員で審査しました。

委員長 山本 幹雄
副委員長 大内 将広



一般会計

歳入

問 相続登記の義務化が今年4月1日から行われたが、町民への周知は、関係機関の協力で、町は3月広報に折り込みチラシを全戸配布した。

答 躍動する兵庫応援事業補助金の充当先は、子育て支援事業では紙おむつ無償提供、地域

問 相続登記の義務化が今年4月1日から行われたが、町民への周知は、関係機関の協力で、町は3月広報に折り込みチラシを全戸配布した。

答 躍動する兵庫応援事業補助金の充当先は、子育て支援事業では紙おむつ無償提供、地域

問 中学校部活動指導員配置事業の内容は、国の補助事業で、部活動の指導体制の充実と教員の負担軽減を目的に、上月中学校女子バレー部に配置した。

問 企業版のふるさと納税の増額の要因は、

答 佐用町独自のプロジェクトに加え、SPRING-8の高度化分の40件4180万円が増額

歳出

問 歳出全般で、当初計画で未執行の事業の課題、問題点を検証されたのか。

答 用地の選定、買収で地権者、地元調整が難航するケースや、予算計上しないと国・県の補助金

問 防犯カメラ設置の現状認識と今後の対応は。

答 県の補助事業で運営していたが、県の補助が終了する。町と警察が協議し、必要な所は町が設



▲道の駅宿場町ひらふく

問 道の駅は指定管理者が替わるが、通常の管理以外で、トイレの改修など、県から支援が得られるのか。

答 道の駅の改修とトイレの改修全体を含めて県に要望していきたい。

申請ができない事業で、申請がなかったケースなどの見込み予算がある。事前に予算を落とすのは状況、事情も汲んで考えて執行している。

総務費

問 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策補助金で、子育て世代物価高騰対策支援事業と、農業者肥料高騰対策の成果は。

答 18歳以下の児童1人あたり4万円の子育て支援券を交付し、家計を支援してきた。また、低所得世帯支援給付金として7万円を支給した。農業者支援では、堆肥の購入半額助成により、有機栽培への取り組みを啓発できたと考える。

問 福祉資格取得助成事業の成果は。

答 定住自立圏の事業で、介護人材が今後不足することが予測されるなか、8名が研修を受講され、資格を取られた。

衛生費

問 新型コロナウイルスが5類に移行したが、現在の感染状況と、ワクチン接種の状況は。

答 8月末現在の感染は

157名で、冬場と夏場に波がある。インフルエンザと同じ扱いなのでワクチン接種に自己負担が生じる。秋に向けて予防接種を進めていく。

土木費

問 急傾斜地崩壊対策事業の実施状況と今後の計画は。

答 令和5年度は13力所で実施。この事業は県の事業になるが、採択要綱が、傾斜30度以上、被害家屋5戸以上などの採択基準があり、その中で緊急性の高い所から実施してもらっている。



▲急傾斜地崩壊対策事業（大願寺）

問 最近猿の被害が増えている。被害と対策の状況は。

答 石井地区、海内地区、三河地区など、北部で被害が多かったが、最近奥金近で被害の報告があった。猿を発見後、迅速に対応するため、地域の方に轟音玉での追い払い活動をお願いしている。大量捕獲など取り組んでいるが、有効な実績が出ていない。引き続き取り組んでいく。

問 「さよう農の匠」養成塾実施事業は、生産者育成を目的としているが、野菜が出荷できるまで技術をつけられた生産者の人数と、出荷品目や出荷量はどうか。

答 令和3年から2年間で、野菜コースでは12名の受講があり、内5名が大根やネギ、ピーマン、なすびなどを出荷している。果樹コースでは19名の受講があり、内8名がもも、なし、ぶどう、柿などを出荷している。

問 買物不便地域移動販売促進事業は、車両の購入費補助に加え、燃料費、タイヤ購入費など拡充されたが成果は。



▲ひまわり祭り

問 消防団に女性はいるか。募集して女性の活躍も進めていくべきでは。

答 女性団員は2名で、出初式の司会、操法訓練の支援をしてもらっている。町の広報などで団員の募集をしている。



▲移動販売

問 公債費の増額の内容は。

答 繰越償還を実施した。自主財源に乏しい本町として今後も繰越償還を積極的にを行い自主財源の確保に努めたい。

■結果 賛成多数 認定

委員会付託案件の審査報告

総務常任委員会（9/6開催） 産業厚生常任委員会（9/9開催）

総務常任委員会
委員長 廣利 一志

佐用町税条例の一部を改正する条例

今回の改正の内容は、寄付金税額控除の拡大です。確定申告や住民税申告をする場合、前年所得額から控除することができ、項目のうち、寄付金控除の対象を拡大するよう改正します。

改正する大きな要因は、国が様々な社会問題を解決するためにこれまで利用の少なかった公益信託制度を新しい制度へ見直したことです。そのため関係法令が改正されたため、それによって町条例の一部を改正することになりました。

問 今回の改正による佐用町への影響は。

答 寄付された分が所得として少なくなるので、それから計算した町民税

結果 全員賛成 可決

佐用町地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

今回の条例改正の内容は、事業者が固定資産税の減免申請をすることができる期間を、令和5年3月31日から、令和7年3月31日まで延長する改正です。

事業者が自治体の策定した事業を行った場合、その減収分の75%が交付税で補填される制度です。その制度の関係法令の改正となっている。この事業の実績は、令和3年度から令和5年度の間にずれも申請はなかった。

問 実績として令和3年度から令和5年度の間にずれも申請はなかったが、今後の見込みなどの把握は。

産業厚生常任委員会
委員長 高見 寛治

佐用町国民健康保険条例の一部を改正する条例
(討論は8ページ)

マイナンバー法等の一部を改正する法律により、令和6年12月2日から健康保険の被保険者証が廃止される。従来の国民健康保険の被保険者証も廃止となるため、国民健康保険法も改正された。これに伴い、佐用町国民健康保険条例を改正するもの

結果 全員賛成 可決

問 マイナ保険証登録者の状況は。取得が困難な介護施設に入所している高齢者の実態は。

答 国民健康保険加入者ベースでカード保有者のうち登録率が64・19%である。希望される施設については訪問して、本人の希望、家族の協力のもと

問 医療機関でのカードリーダーの運用状況は。

答 保険証確認、読み取りをする機械はほぼ設置されている。利用状況の具体的な数字は把握していない。

問 保険税を滞納した場合、現在は短期保険証、資格証明書の発行の措置が取られているが、滞納者の状況は。これから出す資格確認書との違いは。

答 5年度は5世帯10人に資格証明書を発行した。短期保険証は61世帯95人に発行している。今後は被保険者証がなくなるので、短期保険証、資格証明書もなくなると思うが、国から具体的な指針がきていない。

結果 賛成多数 可決

有価証券購入費を計上

将来に向けた水道事業安定のための補正

下水道
簡易水道

補正予算

議案

反対討論

平岡 きぬゑ 議員

佐用町国民健康保険条例の一部を改正する条例
上位法令の改正に伴う条すれの改正。
*産業厚生委員会に付託（詳細は9ページ）

現在の国民健康保険証を廃止し、任意であるマイナンバーカードを強制的に持たせようとするもので、医療の皆保険制度から申請主義に変えられる大問題だ。

マイナンバーカードと保険証の一本化によるトラブルは、命にかかわる危険があり絶対あってはならないことだ。マイナンバーカードには、納税状況・医療・年金など29分野の膨大な個人情報紐づけされている。現行の保険証の存続を求めて反対する。

賛成討論

加古原 瑞樹 議員

今回の条例改正は上位法である国民健康保険法の一部改正に伴うもので、これにより町条例の文言の訂正と条すれの修正を行うものだ。反対討論されたマイナンバーカードの運用自体の内容については、今回の条例改正には関係なく、この条例改正を行わないと、運用に支障をきたし、ひいては町民の不利益になるため、条例の改正は必要であり賛成する。

結果 賛成多数 可決

佐用町税条例の一部を改正する条例
特定公益信託を活用しやすくするための改正。
*総務常任委員会に付託（詳細は9ページ）

結果 全員賛成 可決

財産の取得
(一般事務用パソコン)
現在利用するパソコンは、導入から、5年以上が経過し、処理速度の低下、動作不良、HDDの故障の増加などが起きている。またOSのサポートも終了する予定である。そのため、一般事務用パソコンとして、14インチのスリムノートパソコンを購入する。

問 処理速度のボトルネックの大きいHDDを継続するのか。

答 *SSDとなる。

結果 全員賛成 可決

同意・諮問

佐用町教育委員会教育長の選任に同意しました。
浅野 博之 氏（上月）
任期は3年

佐用町公平委員会委員の選任に同意しました。
坂本 博美 氏（佐用）
任期は4年

人権擁護委員の推薦は適任としました。
森下 守 氏（三日月）
任期は3年

令和6年度 一般会計補正予算（主なもの） 歳出			令和6年度 特別会計補正予算（主なもの） 歳出		
予算項目（款）	補正額（千円）	主たる要因	特別会計	補正額（千円）	主たる要因
総務費	5,761	人件費、修繕料	国民健康保険	15,707	人件費、保険給付費等交付金返還金
民生費	△9,404	人件費、修繕料	後期高齢者医療	2,142	人件費、保険料負担金過年度分
衛生費	33,087	人件費、予防接種委託料	介護保険	100,960	人件費、償還金
農林水産業費	27,305	人件費、野生動物防護柵設置費補助金	西はりま天文台公園	△3,668	人件費、修繕料
商工費	115,183	人件費、工事請負金	笹ヶ丘荘	5,115	人件費、修繕料
土木費	△14,090	人件費、財源変更	簡易水道事業	422,080	人件費、配水管布設工事、有価証券購入費
消防費	3,655	人件費、修繕料	下水道事業	715,539	人件費、有価証券購入費
教育費	48,204	人件費、工事請負金、財源変更			

用語説明 ※SSD：ソリッド・ステート・ドライブ、HDDと同じように使える、処理速度の速い記憶装置。

ここ数年の観光入込客数の推移は

町長 ― 回復傾向だがコロナ前より約14万人少ない



かこはら みずき
加古原瑞樹 議員

問 ひまわり祭りの今年度の成果は。
町長 来場者は4万2千人で、昨年より6千人少ない。猛暑や近隣市町でも同様の取組みが増えた事が要因だと考える。
問 園内で好きなひまわりの花を切ってもらい、後で精算する。またそれをフーケにする体験が出来るというような企画があれば経費も掛からず人気が出るのでは。種を精油する以外にこの様な企画は実現可能か。
課長 非常におもしろくニーズもあるのでは。圃場を限定したり、観光農園的に栽培するなど、視



▲ひまわり祭りの会場で姫新線の利用促進とあわせて、町内観光施設を紹介

問 野に入れても良いかも。
問 南光自然観察村の利用者と収支の推移は。
町長 令和4年度はキャンプブームもあり900万円の黒字だったが、今年度、現在1割減の状況。
問 利用料だけでなく収益を上げる取組みとしてハーベキューセットの販売など地域と連携しているが現状は。
課長 月に2件程度の利用で、肉の自販機も設置した。野菜の試験販売などしたが、継続できていない。
問 いなちくロングライドの申し込み状況は。
町長 今年度は募集を2力

野に入れても良いかも。
問 南光自然観察村の利用者と収支の推移は。
町長 令和4年度はキャンプブームもあり900万円の黒字だったが、今

年度、現在1割減の状況。
問 利用料だけでなく収益を上げる取組みとしてハーベキューセットの販売など地域と連携しているが現状は。
課長 月に2件程度の利用で、肉の自販機も設置した。野菜の試験販売などしたが、継続できていない。
問 いなちくロングライドの申し込み状況は。
町長 今年度は募集を2力



▲観光パンフレットも多言語で対応

月早めるなど努力しているが、8月末で募集の半数程度の申し込み。
問 通年で参加者を募集する四国一周サイクリングでは、天候に左右されず、スケジュールや、走力に合わせて参加ができ、人気がある。通年の取組みは検討されないか。
課長 通年は難しいが、西はりまの他のコースもあり、広域連携も考える。
問 大阪・関西万博の開催によってインバウンドによる経済効果が見込め

ると思うが、外国人観光客の誘致は。
町長 県と連携を取りながら誘致する。
問 長野県地獄谷野猿公苑が外国人の人気の観光地となっている。本町にも瑠璃寺モンキーパークがありアピールすることが有効だと思うが、情報発信についてどのような考えなのか。
課長 SNSやウェブ広告、パンフレット等、多言語で対応している。



9月10日・11日、8人の議員が町政をたどりました。

8人の議員が斬りこむ

町政のここが聞きたい

- 加古原瑞樹 議員 11
 - ① 地域の活性化を目指し更なる観光振興を
- 岡本義次 議員 12
 - ① 縮充のまちづくりについて
- 大村 隼 議員 13
 - ① 町の上水道における法令に基づく水質検査と有機フッ素化合物（PFOA、PFOS等）の検査、および公開方法について
 - ② スマートフォン利用における情報格差（デジタルディバイド）の解消に向けて
- 廣利一志 議員 14
 - ① ユーカリ「協定書」の不備をあらためて問う
 - ② 介護保険の現状と今後についての見解は
- 平岡きぬゑ 議員 15
 - ① 新型コロナウイルス感染症の流行に対する経済的支援を求める
 - ② 猿の被害防止対策
 - ③ 歴史環境の保存と景観づくり
- 大内将広 議員 16
 - ① 「マイナ保険証」の利用促進等に向けた取り組みについて
 - ② 聴覚補助器等の積極的な活用への支援について
- 高見寛治 議員 17
 - ① 地域交流センター等の有効活用について
- 児玉雅善 議員 18
 - ① 生活保護費の受給申請について
 - ② 道の駅宿場町ひらふくの運営について
 - ③ 町管理の公共施設の管理について

※記事および写真は質問をした議員から提出されたものです。質問・答弁の全文は後日会議録としてホームページに掲載しますのでご覧ください。なお、掲載順は毎回くじ引きで決めています。

町上水道の有機フッ素化合物の検査結果は

町長 — 暫定目標値未満であり安全に利用できる



おおむら はやと
大村 隼 議員

問 町上水道における有機フッ素化合物の検査はどうなっているか。

町長 令和6年度に初めて検査を行った。暫定目標値である1リットルあたり50ナノグラムをはるかに下回ることを確認した。安心して水道水をご利用いただきたい。

問 有機フッ素化合物の特性や検査結果についてどのように周知していくつもりなのか。

課長 住民の方にできるだけわかりやすい形で公開したい。安全であることが一番に伝わるようにしたい。

問 町水道における水質検査は、どのように実施・周知されているか。

町長 安全・正常な水の供給を確保することは最も基本的な義務であり、水質管理は不可欠。水質基準への適合状況を判断するため定期的・臨時の水質検査を実施している。結果については5年間保存しなければならない。紙とデータで保管しホームページで公開している。

問 機械判読性が高いデータ形式で公開すべきではないか。

町長 今後、機械判読性が高いデータ形式で公開していく。

スマートフォンの利用における情報格差解消に向けた取り組みについて

問 現状、どのような取り組みが行われているのか。

町長 情報格差対策は地域社会のデジタル化を進めていく上で大きな課題。出来る限り多くの住民がデジタル化の恩恵を受けられるよう取り組みを進めるとともに、スマホを持たない方も公平にサービスが受けられるよう周知する必要があると考える。

問 スマートフォンの利用に関して、町民向けのスマホ教室および相談会を



▲スマートフォン講座の様子（上月地域交流センター）

本年9月からスタートした。今後は毎月2回程度開催を予定している。

課長 皆さんが参加しやすいよう、各地域で開催していきたい。

問 小中学校でのデジタルリテラシー教育は。

町長 学校での授業・校内研修、PTA主催の講演会などを学校単位で実施。教員や保護者も含めて子どもたちが安心してICTを利用できるように学習を行っている。

縮充のまちづくりについて

町長 — 町全体の持続可能性の向上にむけ取組む



おかもと よしつぐ
岡本 義次 議員

問 日本の出生数が70万人を切ると言われており、佐用町においても人口減少が止まらず、4月広報では3人生まれ、39人死亡が33人であったと掲載されている。学校を出ると京阪神や東京に就職して、帰るのはお盆か正月くらいで、空き家が増え、寂しい状態になっている現状を町長はどのようにに思い、考えているのか。

町長 地方はこれまで以上に人口減少は避けられないが、町が消滅する訳ではない。今後も町民の負担軽減や暮らしやすさ、町全体の持続可能性の向上にむけ、町民と一緒に考え、縮充のまちづくりに取組む。

問 各集落に人がいなくて各種行事が出来ない状態が見受けられる。これから空き家も増えると思うがどう対処するのか。

町長 空き家は行政が全て対応していくわけにはいかない。町としても空



▲きれいに草刈りされたのり面（円光寺）

き家の活用には取り組んでいるが、まずは個人の責任を果たしていただくということを伝えていくことが必要。

問 三河電機・グローリー等、町に海外から多くの人が就労にいられている。また、日本語学校にもベトナム・ミャンマー等多くの国から日本語を学びに来られているが、

各事業所に何人就労されているか把握しているか。

町長 令和5年度末現在の外国人口は215人で、その内、技能実習生が84人。事業所ごとの詳細は企業のことなので差し控えていただく。

問 日本語学校では令和5年度に卒業された学生57人のうち、5人が町内の企業に就職された。

町長 現在、町では小学校中学校4校ずつあるが、人数が減り、野球・サッ

カー等他校と一緒にならないと出来ない状態である。統廃合についてはどのような方針を持っているか。

教育長 小学校については、佐用町規模適正化推進計画に基づき運営を行っている。中学校については小中連携や中連携地域との連携強化など佐用町型連携教育を基盤とした中学校のあり方を引き続き検討していく。



▲きれいに草刈りされた国道373号線のり面（円光寺）

新型コロナワクチン接種費用の減免を

町長 ― 周辺自治体同様の対応をする



ひらおか
平岡きぬゑ 議員

問 国は、新型コロナウイルス感染症の抗ウイルス薬の自己負担軽減や診療報酬の特例の経過措置を3月31日に全面的に打ち切っている。
神奈川県海老名市は、高齢者のコロナワクチン接種と、インフルエンザワクチン接種を無料にした。

町長 コロナ感染は、郡医師会発表で6月23人・7月202人・8月150人。抗ウイルス薬は、4月1日からは、医療保険で対応し、窓口負担が必要になる。10月から定期接種のワクチン接種は、1万5300円の内、国



▲追い払い 轟音玉ほか

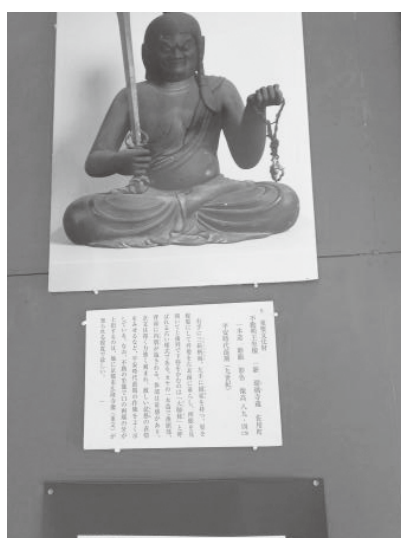
問 猿による家庭菜園の被害状況と「大丹波地域猿対策協議会」の取り組みを参考に対策を求める。
町長 被害は、三河・石井・海内・奥金近・奥長谷へ広がっている。令和元年からサル用電気柵への補助を行い設置後は侵入がない。

課長 鳥獣害対策は、農林振興課職員と郡猟友会の10人で構成。被害通報後に地域ぐるみの追い払い活動などを実施している。猿の個体管理は、令和2年度以降メスにつけた発信機の電池が切れ出ていない。定期的に対策協議会を開催し、兵庫県森林動物研究センターの指導を受け情報を共有している。

問 歴史環境の保存と景観づくり
町長 瑠璃寺の文化財を紹介している看板は、看板の半分がはがれた状態であり対応を求める。
教育長 看板は、合併前のままで老朽化しており、検討したい。



▲瑠璃寺の文化財看板



▲瑠璃寺の文化財
(三河アートセンター展示室)

ユーカリ「協定書」の不備を改めて問う

町長 ― 協定書に不備はない

ひろかが かずし
廣利 一志 議員



問 3者（JIA、東京農工大、佐用町）による協定書では、資金分担は実証実験段階では東京農工大とJIAが負担、その後は分収造林契約を結ぶという事だが協定書に予算計画額を明記すべきだ。

町長 6月に実証実験では、事業の実施主体の東京農工大、JIAが負担すると答弁した。佐用町は実証実験では実験用地を提供する以外金銭的負担を求められていないことだ。



▲ユーカリ勉強会の模様（幕山地区センター）

問 3者による事業が終了時のユーカリの取り扱いについて協定書に盛り込むべきだ。
町長 早生樹

問 介護保険の現状と今後についての見解は
町長 佐用町の介護事業者は全国で近年顕著な空白とはなっていないが、傾向と特徴的な事は。
町長 要介護認定率が県下平均を上回っている。

問 施設事業者数が全国平均の3倍である。
町長 認知症の早期発見、今後の取り組みは。
課長 専門医への受診を進め、認知症カフェなどで見守り、そのネットワークを広げていきたい。



▲住民主体の認知症予防の取り組み
(太田井集会所)

地域交流センター等の有効活用を

町長 — 利用しやすい施設になるよう取り組む



たかみ かんじ
高見 寛治 議員

問 三日月支所に三日月文化センターの機能を移転し「三日月地域交流センター」に、上月支所に上月文化会館の機能を移転し「上月地域交流センター」として、地域の交流の場として開設された現在、南光文化センターの大規模改修工事が実施されている。

文化センター・文化会館は、地域での学びの場の拠点施設であり、多くの方々が、集まり学習されていた。機能移転した地域交流センター、南光文化センターが、地域住民の集う新たな交流拠点として有効活用できるよ

う、今後の事業展開について伺う。

各地域交流センターの利用状況、貸館事業と町主催事業の利用状況は。

町長 三日月

地域交流センターの利用人数は7856人で前年度に比べ17%増加している。内づくり協議会、ラスグール、ふれあい喫茶、町主催事業



▲上月地域交流センター開所式

相談事業などで利用回数での割合は、全体の30%である。

問 地域交流センター、等で活動できる団体、グ

地域のイベントや講座に参加しやすい施設であり、大集会室や駐車場の整備もしている。地域の活動や交流にとどまらず、施設を知っていただき活用のかげにつなごう。



▲三日月地域交流センター 喫茶であいの様子

課長 ループ等が増える仕掛けをしてはどうか。

問 地域交流センターでの町主催事業実施についての見解は。

問 行政が推進している事業、施策の説明会や講習会を開催してはどうか

副町長 現在でも地域交流センターを活用している。DX推進に関するスマホの初心者向け講座などを開催している。今後各地域での開催がよいことについては、施設状況などを考慮し、実状に応じ活用していく。

問 マイナ保険証の利用促進の広報活動を強力に推進し、正しい情報発信にと考えるがどうか。

町長 マイナンバーカード登録は本年7月末で97・05%、マイナ保険証の登録は本年6月で国保加入者が64・19%、後期高齢者医療が60・55%になっている。本年7月の国保証の一斉更新時に、被保険者証は12月2日から発行されないことのリーフレットとマイナ保険証の周知記事を記載したミ

二冊子を同封し郵送。広報さよう、町ホームページにも掲載。

問 マイナンバーカードのメリットは。

課長 顔写真付きの本人確認書類、健康保険証、コロナの予防接種証明書子育て手続きなどに使える。住民票、戸籍謄本、印鑑証明書はコンビニ交付できる。マイナ保険証の紐付けで、診療履歴でより良い医療が受けられ高額療養費の限度額適用認定書の申請をしなくて



▲医療機関のマイナンバー
カードリーダー

も限度額までの支払いで済む。

問 マイナ保険証を使い
たくない人の対応は。

出回ってしまうとの考え
正しい情報を知らせ安心
して利用できるように努
めたい。

問 聴覚補聴器の情報提供の機会や、高齢者が自分にあった聴覚補聴器を選択できる環境整備は。

町長 昨年度、社会福祉協議会の委託事業の家庭介護教室で、聴覚の専門家を講師として招き、メリット・デメリットの説明会を行った。

問 購入の費用を助成する制度の創設は。

町長 障害者総合支援法

の補装員費支援制度の補聴器購入補助対象となる方で、身体障害者6級になり身体障害者手帳の取得が必要となる人は、基準に沿った補聴器の購入買い替え、修理を含めて補助対象となる。引き続きこの制度の周知に努め支援していきたい。

問 軟骨伝導イヤホンの窓口設置はできないか。

課長 これはいいものだと普及していけば導入を考えた。

マイナンバー保険証利用促進は

町長――引き続き情報発信に取り組む



おおうち まさひろ
大内 将広 議員



▲補聴器と収納ボックス

委員会の動き

総務常任委員会 (7/22、8/20) 産業厚生常任委員会 (7/17、8/19)

地域づくり協議会
振り返りの取り組みと
現状について

総務常任委員会
委員長 廣利 一志

佐用町では平成17年の合併をきっかけに協働のまちづくりの中心組織として13地域づくり協議会が設立され、それ以降の活動について調査しました。

立ち上げから10年の活動として①「地域まちづくり計画」を策定②地域課題解決事業の実施、例として江川での「江川ふれあい号」長谷での「コトノボ荘」、三日月での「おいでな食堂」の活動があります。

一方で参画意識の低下、事業のマンネリ化、地域の担い手不足などの課題が明らかになってきました。

令和元年度から「みんなの地域づくり協議会活力向上プロジェクト」(愛称 みんな活)がスタートし、課題は押しつけややらされ感の払拭、地域ごとの独自性を活かすなどでした。

「みんな活」による4年間の取り組み成果として、地域協のやらされ感の払拭、ワガコト化、地域間で学びあう意識の醸成などがあります。また会議の運営方法や話し合いが徐々に変わっていきまし

た。具体的には会議をきちんと対話の場に、あるいはホワイトボードで協議内容を可視化するなどです。

地域づくりの支援体制の構築として、県地域再生アドバイザーの活用、縮充戦略アドバイザーの任用、縮充戦略支援員の任用などがあります。

センター長は地域のリーダーであるが、なり手不足の問題で、現状は

生活保護申請の水際作戦は

町長——水際作戦的な対応はない

問 生活保護費の受給申請で相談時に受給を諦めさせる水際作戦が行われている。

町長 時間をかけて対応している。水際作戦的な

対応はしていない。**問** 申請しても却下されるとして、到底できない提案をし、それでも申請するのかと追い込み、過呼吸の発作で体調を崩さ

れ、夢に担当者が出て、怖くて不眠症になった。気の弱い人なら申請をあきらめ

ると思う。**課長** 対応に対し気分を害したり、怖い思いをされたのならおわびする。

問 現在、受給して

いる世帯数と人数は。**町長** 8月末で58世帯64名となっている。

問 保護費の受給額の算出方法は。**課長** 保護基準(最低生活費)が決められていて、年金を含む収入額によ

って決まる。**問** 佐用町の基準額はいくらか。**課長** 一人世帯の場合は6万3千円。二人世帯の場合で、9万数千円。三段階のうち、佐用は3級地が一番低い。

令和元年度から「みんなの地域づくり協議会活力向上プロジェクト」(愛称 みんな活)がスタートし、課題は押しつけややらされ感の払拭、地域ごとの独自性を活かすなどでした。



こだま まさよし
児玉 雅善 議員

道の駅リニューアルについて

問 狭い店舗を効率よく使うには、現場スタッフ



▲道の駅の駐車場と新駐車場予定地

公共施設の管理について

の意見を聞くことが大切だが、聞く予定はあるか。**町長** 現在の役員やスタッフから問題点などを聞いたうえで、リニューアルに臨む。

問 駐車場予定地脇の水路に古い石橋があり、由緒書きの看板が老朽化しているが、更新すべきだ。**課長** 駐車場の整備に合わせて更新する。

問 佐用インターのトイレにペーパーホルダーの痕跡はあるが、ペーパーがなかった。管理はどうなっているのか。**課長** シルバーに委託し、週に2回掃除している。設置したので、不備があれば報告してもらう。



▲江戸の昔から伝わる「石橋」と由来を書いた看板

答 任期は決まっていない。地域協ごとに決めて頂いている。どこも担い手については苦労されている。

問 地域協のコンセプトが分からない。子どもに楽しい思い出づくりをしたい。将来戻ってこれるような町にすべき。地域協の仕事、コンセプトは。

答 重要な指摘だと思う。各地域をどうしていくかというコンセプトを地域がしっかり考えられないといけない。地域協の見直しは兵庫県下では佐用町が初めてであり注目されている。地域協ごとの格差は大きく開く可能性があるが、サポートをしっかり行っていきたい。

西はりま天文台公園現地調査

利用状況は、入園者、宿泊者のほぼ半数がウェブサイトから天文台の情

報を得ている。令和5年度は利用者はコロナ禍以前の状況まで回復している。

自然学校事業の実施状況は、団体数、学校数ともに増加傾向にある。令和6年度は姫路市、芦屋市からの申し込みが増えている。

レストランカノープスの運営状況は、町と業者間でレストランカノープスと食堂ホールの運営委託契約を締結している。喫茶の営業時間は午前9時から午後7時30分、食堂ホールは朝食、昼食、夕食それぞれ時間を設定している。ただし、休園日等では、時間短縮も含む臨時休業も可能としている。

問 家族用ロッジについて一般利用についてどう考えるか。**答** 宿泊予約は6か月前から可能だが、ハイシーズンにはほぼ予約でいっぱい。閑散期は宿泊に余裕



▲西はりま天文台公園の現地調査

があるので一般受け入れを考えたい。**問** 冬の利用はニーズがあると思うが雪の際の体制は。**答** 事前に予約者に連絡し状況説明して来園決定するように促している。除雪が間に合わず休園したことがある。

その後園内施設について改修が必要などところを含め調査し、グループ棟、家族棟などを視察しました。

議会広報特別委員会活動報告

住民に伝わる議会だよりへ！ 議会広報研究会に参加

8月7日開催
広報特別委員長 加古原 瑞樹

今年も委員6人で参加し、議会だよりの編集のポイントについて学びました。言葉やフォントの選択による可読性、写真やグラフなどの視認性など、どのように伝えるかだけでなく、どのように伝わるかという読者目線の重要性も改めて学びました。

また、報告型ではなく、企画・提案型の内容にしていくことや、デジタルも含めた多媒体での発信など今後の検討課題も示して頂きました。

今後はこの研修を活かし、議会だよりを通じて住民の皆さんと議会の架け橋となるよう編集に努めていきたいと思います。



産業厚生常任委員会
委員長 高見寛治

健康寿命を延ばす取組みと介護認定の要因と健康増進の取組み

町が取り組む健康づくりの普及・推進について調査しました。

「健康寿命」とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間であり、平均寿命を健康な期間と不健康な期間に分けて計算されるもので、健康寿命を少しでも長くする取組みを行っている。

町では、近年神経障害、網膜症、腎症などの合併症を起こし、日常生活動作を著しく低下させ、認知症の発症リスクを高める糖尿病が増加している。重症化予防のため医療や介護の関係者でワーキング会議を開催し、事例を

検討している。また、保健師や管理栄養士による電話や訪問で生活改善指導も行っている。

重症化予防の啓発と知識の向上のため健康セミナーも開催している。

自ら健康づくりをする人を支援するため、さよ

う健康ポイント事業を実施しており、健診を受ける（知る）ことを基本にし、減塩などの食事をする（食べる）、運動をする（動く）の3つの分野でポイントを付与している。

健康寿命を延ばす取組みの一つとして、ポピュレーションアプローチとは。

健康づくりや生活機能の維持向上を目的とした取組みで、講演会やセミナー、運動教室などに誰でも参加してもらい、同じように支援すること。介護認定の要因は、整形外科疾患が最も多く、次に、認知症、心疾患、

脳疾患、がん、糖尿病と続く。

健康増進では、いきいき百歳体操の実施グループが、令和5年度で町内に41グループが活動している。町では新規のグループが発足できるよう支援を行っている。

頭と体の健康教室を生きがいづくりセンターで年間31回開催し、参加者は延べ756人。

介護サービスを利用しながらでも、住み慣れた地域で助け合いながら、いつまでも自分らしく暮らせるまちづくりを目指している。

介護認定が多い要因は、高齢化率が高いだけ

が要因ではないと思うが、認定調査も審査基準も全国一律である。介護が必要な方が介護支援を受けることができるよう取り組んでいる。



▲元気アップスクールを見学（保健センター）

より実施している。

石綿管更新事業は、7年間で更新延長は約3・4km。ポンプの更新は、令和5年度で14台更新した。

水道管の耐震化については、耐震管の延長は令和4年度末で約17kmだが、地盤等を考慮した耐震適合管は、総配水管の約60%になる。

有機フッ素化合物（PFAS）の水質検査町内15地点の浄水の管末で採水し検査した結果、全地点で暫定目標値以下であり問題はない。

下水道施設の長寿命化・耐震化については令和2年度にストックマネジメント計画を策定し実施している。浄化センターの耐震化については、佐用、上月浄化センターは、2000年基準の耐震化済みだが、久崎、南光、三日月浄化センターは耐震診断の結果次第で耐震補強が必要になる。



▲佐用浄化センター

統廃合については、農集及びコミプラの集約化を実施済み又は検討中。佐用、三日月浄化センターに前処理施設を建設し、佐用衛生公苑を廃止する。町特定環境保全公共下水道事業計画に基づく統廃合事業により、佐用、上月、南光処理区で年度計画により事業を実施している。

施設の重要度の判断は。

すべての施設が重要であるが、特に水を作り出す浄水場、浄化センターは最も重要であり優先する。

組合議会報告

にしはりま環境 事務組合議会定例会

8月22日開催
組合議員 森脇 裕和

定例会

第48回にしはりま環境事務組合議会定例会が開催され、副議長の選任と令和5年度にしはりま環境事務組合一般会計歳入歳出決算の認定が行われた。

すべて承認、認定された。

副議長 澤田 正治 氏（上郡町）

令和5年度一般会計歳入歳出決算 認定

播磨高原広域 事務組合議会定例会

8月23日開催
組合議員 小林 裕和

- ・播磨高原広域事務組合議会副議長選出 千種 和英 氏（佐用町議会議長）
- ・承認第1号 専決処分（兵庫県市町村職員退職組合規約の一部改正）
- ・報告第1号 令和5年度播磨高原広域事務組合下水道事業会計予算繰越計算書
- ・報告第2号 資金不足比率の報告
- ・認定第1号 令和5年度播磨高原広域事務組合一般会計決算認定
- ・認定第2号 令和5年度播磨高原広域事務組合上水道事業会計決算認定
- ・認定第3号 令和5年度播磨高原広域事務組合下水道事業会計決算認定

上程議案は、すべて可決・承認されました

一般質問の録画・インターネット放映

佐用チャンネル12月議会の一般質問の様子は
1月に2回に分けて録画放映します。

9月の一般質問は10月に放映しました。
インターネットでいつでもご覧いただけます。

佐用町の公式ホームページから、佐用町議会をクリックしていただき、
一般質問の録画映像を👉をクリックしてご覧ください。

12月定例会の予定

3 (火)	本会議	11 (水)	一般質問
4 (水)	総務常任委員会	12 (木)	一般質問 (予備日)
5 (木)	産業厚生常任委員会	16 (月)	本会議
10 (火)	一般質問	20 (金)	本会議

※一般質問の様子は佐用チャンネルで放映します。

表紙写真によせて



秋風が心地よい中、味わいの里三日目で芋掘り体験が盛況に開催されました。町内外から集まった23組48人の参加者たちは、土の中から現れるさつまいもの大きさに歓声を上げていました。

今回インタビューさせて頂いたのは、早瀬から来られた田中文字子さん(90歳)。買いい物に訪れたところ、芋掘りの賑やかな声が聞こえ、家族みんなで飛び入り参加されたそうです。「この芋、大きいでしょう?」と、大きなさつまいもを持ち上げながら、「戦争中は、このツルも貴重な食料だったのよ」と教えていただきました。お孫さんたちと芋ほりで汗を流し、幸せそうな田中さんの焼き芋のようにホクホクの笑顔を見ていると、温かい気持ちになりました。

編集後記

極暑・残暑の厳しかった夏日も過ぎ去り、秋の収穫に感謝する、町内各神社での秋祭りもコロナ前に匹敵する賑わいのうちに終わりました。

ここからは、文化月間の時期で町内外からたくさんの方の作品展示の他、芸能発表等々私たちの心を和ませてくれるでしょう。

議会だよりの編集においても、各議員の活動・動きが町民の皆様により判りやすく、一読していただけるよう委員全員で作成しています。ご意見等いただければ幸いです。季節の変わり目、お体に「ご自愛を」!

小林 裕和

議会広報特別委員会

委員長	加古原瑞樹
副委員長	大村 隼
委員	大内 将広
委員	児玉 雅善
委員	小林 裕和
委員	平岡きぬ

